



かけはし

家庭教育7か条！

「家庭は教育の原点である」と言われているように、家庭教育は「人づくりのみなもと」として、重要な役割を担っています。「しつけの場」であり、「心の居場所」である家庭で、子どもは、生活に必要な基礎的な力や人を信頼する心を身に付けていきます。

奈良県立教育研究所から出ているパンフレット「ならっ子 みんなで育てよう 子どもと親のための家庭教育7か条」は、そんな文章から始まっています。このパンフレットに書かれていることを、先日の3年生の学年懇談で話題にしました。(7か条は以下の通りです。)

- 1 決めた時刻に寝る習慣をつけよう
 - 2 身の回りの片付けをする習慣をつけよう
 - 3 手伝いをする習慣をつけよう
 - 4 あいさつをする習慣をつけよう
 - 5 家族で会話をする機会を増やそう
 - 6 友だちと外で遊ばせるようにしよう
 - 7 してよいこと、してはいけないことをしっかりと教えよう
- ☆ ほめること、しかることはしつけのコツです。

保護者の感想より

○家庭教育7か条、一通り目を通しました。確かに、毎日決まった時刻に寝ると、毎朝起こすことなく自分で起きて、朝食もしっかり食べ、時間にも余裕があります。また、うちの子は外遊びが大好きで毎日遊んでいます。恥ずかしがり屋なので自分から知らない人に話しかけたりすることは苦手です。でも、友達がいれば、一緒になって年令の違う子どもとも遊ぶし、近所のお母さんたちとも話せるようになったり、虫や植物に興味を持ったりなど、家の中で過ごすよりいろんなことを身に付けると思います。自分の子どもには、悪いことをしてほしくないと思うばかりに、ほめるよりしかることの方が多く、日々反省の毎日です。この7か条をいつでも見られる場所に貼っておこうと思います。

○この冊子を読んで、分かっていること、知っていることなのに、子どもに対しあやふやなことを教えているんだと実感しました。最後の、「ほめること、しかることはしつけのコツです」という言葉は、とても心にくるも

のがありました。イライラしているときは怒ってばかりで、自分の意見ばかり言っていました。私も子どもももう一度この冊子を読み、楽しい生活を送っていきたくと思っています。

ところで、この7か条は、本校PTA申し合わせ5項目と重なる部分がありますね。

1年生の学習参観より

1年生は、道徳「はしのうえのおおかみ」の学習でした。ちょっといじわるなおおかみが、やさしくまに出会ったことで自分を反省し、みんなに優しくできるようになるというお話です。おおかみの気持ちを考え合うことで、身近にいる人々に温かい心で接し、親切にしようとする心情を養うことができます。

○道徳の授業ということで、どんなことをするのか楽しみにしていました。登場してくる動物の気持ちをみんなそれぞれ考え、こんなことをされたらうれしいし、こんなことをされたら嫌な気持ちになるなど、いろいろな意見を聞き、子どもたちが普段生活していく中でもとてもよい授業だったと思います。今日授業に出てきたくまさんのように、友達にもやさしくできる子になってほしいとつくづく思いました。子どもにも、帰ってからまたそれぞれの気持ちを聞きました。

○登場人物が動物で、子どもに分かりやすく良かったと思います。相手の立場になって考え、いつまでもやさしく素直で、誰にでも親切にできるような大人になってほしいと思います。大事な授業内容で、子どもが少しでも理解してくれていたらうれしいです。

学校での学習と家庭での会話や触れ合いがこうして響き合うことで、子どもたちに人として大切な心が育っていくのではないのでしょうか。

ご意見ご感想をお寄せください。
